

教研のご案内 3学期は忙しいけれども

今回の泉北教研の講師

である田中孝彦さんは、

武庫川女子大学の教育研

究所教授として、男女共

学の夜間大学院（臨床教

育学研究科臨床教育学専

攻博士課程）で教壇に立

つ一方、民間の教育研究

団体「教育科学研究会

（教科研）」委員長とし

て活躍されています。

教科研は「教育学は、

目の前にいる子どもの存

在とどう向き合うか、か

ら出発するべきである」

と主張し、現場教職員も

多数参加しています。そ

のため田中孝彦さんは、

学校現場を最もよく知る

研究者の1人です。

ご自身の研究スタイル

も「子どもと直接話し合

う」という独特の実証的

な方法をとられます。そ

こから見えてくるものを、

今回「子ども理解と学習

指導を結びつける教育実

践を探る」との題で講演

していただきます。入場

は無料です。



1945年北京で生まれる。
東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。東京大学、東京経済大学、北海道大学、都留文科大学などを経て、現在武庫川女子大学大学院教育研究所教授。教育科学研究会委員長。

2月1日(土) 14:00～16:00

和泉コミセン（和泉市役所敷地内）

泉北教組主催「冬の泉北教研」（どなたでも参加できます）。参加費無料（事前申込不要。教育関係の書籍販売有り。13:30より入場できます。）

2月15日(土) 13:00～15:00

箕面観光ホテル（阪急箕面駅下車・徒歩5分）

第25回青年フェスタの記念講演（年齢に関係無く参加できます）。参加費2000円は泉北教組から補助しますので、組合員は自己負担0円。組合員以外の方の自己負担は1000円。泉北教組への事前申込が必要です。



1969年 大阪市立大学医学部卒業、あべのクリニック心療内科を経て、
1989～2008年
神戸女学院大学人間科学部教授
2007～2012年3月
大阪府教育委員長
2008年 社会医療法人浪速生野病院・心身医療科およびストレス疾患治療研究所を開設、神戸女学院名誉教授も兼任する

2012年3月まで大

阪府教育委員長として大

阪の教育に心を砕いてき

た生野さんは、心療内科・

小児科医です。特に摂食

障害に関し、当事者主役

の診療を行いながら、患

者や家族がもつ本来の力

を強める治療を提唱して

きました。大阪では、摂

食障害患者本人や家族が

中心になって行うセルフ

ヘルプグループの活動の

中心的な存在となってい

ます。現在は外来診療の

かたわらストレス疾患治

療研究所所長も兼任して

いますが、生野さんの、

命の可能性を信じて患者

と家族に寄り添い続ける

姿勢に、大きな共感の声

が寄せられています。

今回の演題は「大阪中

の子どもたちを抱きしめ

たい。」青年教職員への

メッセージ。年齢に関

係無く教職員なら誰でも

参加できますが、参加さ

れる方は、泉北教組に事

前連絡をお願いします。

田中孝彦さん 生野照子さん